

新生児特定集中治療室管理料・新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料
 総合周産期特定集中治療室管理料・新生児治療回復室入院医療管理料
 の施設基準に係る届出書添付書類

届出を行う区分 (該当するいずれか1つを選択すること。ただし、1又は5と3を同時に届け出る場合には、2つを選択すること。)	1：新生児特定集中治療室管理料1 2：新生児特定集中治療室管理料2 3：新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料 4：総合周産期特定集中治療室管理料の「1」母体・胎児集中治療室管理料 5：総合周産期特定集中治療室管理料の「2」新生児集中治療室管理料 6：新生児治療回復室入院医療管理料																												
当該治療室の従事者	<table> <tr> <td rowspan="10">専任医師</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>日勤の時間帯</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>日勤以外の時間帯</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ☐ 宿日直を行う医師でない医師が常時勤務 (新生児特定集中治療室管理料1及び総合周産期特定集中治療室管理料の「2」新生児集中治療室管理料に係る事項) </td> </tr> <tr> <td rowspan="3"> 母体・胎児集中治療室管理料の専任医師に関する事項 (施設基準に該当する場合に記入すること。日によって体制が異なる場合には、当てはまるものすべてを選択すること。) </td> <td> ☐ 宿日直を行う医師でない専任の医師が常時、母体・胎児集中治療室内に勤務 </td> </tr> <tr> <td> ☐ 専ら産婦人科又は産科に従事する医師が常時2名以上当該保険医療機関内に勤務 </td> </tr> <tr> <td> ☐ 治療室の病床数が6床以下であって、専ら産婦人科又は産科に従事する医師が常時1名以上当該保険医療機関内に勤務し、当該医師とは別に、専ら産婦人科又は産科に従事する医師が緊急呼出し当番により、30分以内に当該治療室での診療を開始できる体制を確保 </td> </tr> <tr> <td>当該病院に勤務する麻酔医</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>看護師数</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>看護師の勤務体制</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>日勤</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>準夜勤</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>深夜勤</td> <td>名</td> </tr> </table>			専任医師			日勤の時間帯	名	日勤以外の時間帯	名	☐ 宿日直を行う医師でない医師が常時勤務 (新生児特定集中治療室管理料1及び総合周産期特定集中治療室管理料の「2」新生児集中治療室管理料に係る事項)		母体・胎児集中治療室管理料の専任医師に関する事項 (施設基準に該当する場合に記入すること。日によって体制が異なる場合には、当てはまるものすべてを選択すること。)	☐ 宿日直を行う医師でない専任の医師が常時、母体・胎児集中治療室内に勤務	☐ 専ら産婦人科又は産科に従事する医師が常時2名以上当該保険医療機関内に勤務	☐ 治療室の病床数が6床以下であって、専ら産婦人科又は産科に従事する医師が常時1名以上当該保険医療機関内に勤務し、当該医師とは別に、専ら産婦人科又は産科に従事する医師が緊急呼出し当番により、30分以内に当該治療室での診療を開始できる体制を確保	当該病院に勤務する麻酔医	名	看護師数	名	看護師の勤務体制			日勤	名	準夜勤	名	深夜勤	名
専任医師																													
	日勤の時間帯	名																											
	日勤以外の時間帯	名																											
	☐ 宿日直を行う医師でない医師が常時勤務 (新生児特定集中治療室管理料1及び総合周産期特定集中治療室管理料の「2」新生児集中治療室管理料に係る事項)																												
	母体・胎児集中治療室管理料の専任医師に関する事項 (施設基準に該当する場合に記入すること。日によって体制が異なる場合には、当てはまるものすべてを選択すること。)	☐ 宿日直を行う医師でない専任の医師が常時、母体・胎児集中治療室内に勤務																											
		☐ 専ら産婦人科又は産科に従事する医師が常時2名以上当該保険医療機関内に勤務																											
		☐ 治療室の病床数が6床以下であって、専ら産婦人科又は産科に従事する医師が常時1名以上当該保険医療機関内に勤務し、当該医師とは別に、専ら産婦人科又は産科に従事する医師が緊急呼出し当番により、30分以内に当該治療室での診療を開始できる体制を確保																											
	当該病院に勤務する麻酔医	名																											
	看護師数	名																											
	看護師の勤務体制																												
日勤	名																												
準夜勤	名																												
深夜勤	名																												
当該治療室の概要	<table> <tr> <td>病床面積</td> <td colspan="2">平方メートル</td> </tr> <tr> <td>病床数</td> <td colspan="2">床</td> </tr> <tr> <td>1床当たりの床面積</td> <td colspan="2">平方メートル</td> </tr> <tr> <td>1日平均取扱患者数</td> <td colspan="2">名</td> </tr> <tr> <td> 新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料の病床数 (当該管理料を届け出る場合のみ記入すること。) </td> <td colspan="2">床</td> </tr> </table>			病床面積	平方メートル		病床数	床		1床当たりの床面積	平方メートル		1日平均取扱患者数	名		新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料の病床数 (当該管理料を届け出る場合のみ記入すること。)	床												
病床面積	平方メートル																												
病床数	床																												
1床当たりの床面積	平方メートル																												
1日平均取扱患者数	名																												
新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料の病床数 (当該管理料を届け出る場合のみ記入すること。)	床																												

装置・器具	
救急蘇生装置（気管挿管セット）	☐ 治療室内に配置
	☐ 隣接する新生児治療室に配置 （共有により緊急時に対応可能）
新生児用呼吸循環監視装置	☐ 治療室内に配置
	☐ 隣接する新生児治療室に配置 （共有により緊急時に対応可能）
新生児用人工換気装置	☐ 治療室内に配置
	☐ 隣接する新生児治療室に配置 （共有により緊急時に対応可能）
微量輸液装置	☐ 治療室内に配置
	☐ 隣接する新生児治療室に配置 （共有により緊急時に対応可能）
経皮的酸素分圧監視装置又は経皮的動脈血酸素飽和度測定装置	☐ 治療室内に配置
	☐ 隣接する新生児治療室に配置 （共有により緊急時に対応可能）
酸素濃度測定装置	☐ 治療室内に配置
	☐ 隣接する新生児治療室に配置 （共有により緊急時に対応可能）
光線治療器	☐ 治療室内に配置
	☐ 隣接する新生児治療室に配置 （共有により緊急時に対応可能）
心電計	☐ 治療室内に配置
	☐ 病院内に配置
呼吸循環監視装置	☐ 治療室内に配置
	☐ 病院内に配置
分娩監視装置	☐ 治療室内に配置
超音波診断装置（カラードップラー法による血流測定が可能なものに限る。）	☐ 治療室内に配置
自家発電装置	☐ 病院内に配置
電解質定量検査装置	☐ 病院内に配置
血液ガス分析装置	☐ 病院内に配置

新生児特定集中治療室管理料 1 又は総合周産期特定集中治療室管理料の「2」新生児集中治療室管理料に係る事項 (施設基準に該当する場合記入すること。)		
	直近 1 年間の出生体重1,000g未満の新生児の新規入院患者数	名
	直近 1 年間の当該治療室入院患者に行った開胸手術、開頭手術、開腹手術、胸腔鏡下手術又は腹腔鏡下手術の年間実施件数	件
新生児特定集中治療室管理料 2 に係る事項 (施設基準に該当する場合記入すること。)		
	直近 1 年間の出生体重2,500g未満の新生児の新規入院患者数	名
	総合周産期母子医療センター又は地域周産期母子医療センターに該当するか。(該当するいずれか 1 つに○をすること。)	1 : 該当する 2 : 該当しない
新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料に係る事項 (施設基準に該当する場合記入すること。)		
	新生児の特定集中治療の経験を 5 年以上有する医師数	名
	当該保険医療機関に配置され、緊急時に対応を行う常勤の臨床工学技士数	名
	当該保険医療機関に配置されている常勤の公認心理師数	名
	直近 1 年間の出生体重750g未満の新生児の新規入院患者数	名
	直近 1 年間の当該治療室入院患者に行った開胸手術、開頭手術、開腹手術、胸腔鏡下手術又は腹腔鏡下手術の年間実施件数 (再掲)	件
	直近 1 年間の経鼻的持続陽圧呼吸療法を除く人工呼吸管理を要する新規入院患者数	名
総合周産期特定集中治療室管理料の「1」母体・胎児集中治療室管理料に係る事項 (施設基準に該当する場合記入すること。直近 1 年間の当該病院の実績について記載すること。)		
	救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる妊産婦の搬送受入件数	件
	多胎妊娠の分娩件数	件
	帝王切開術による分娩件数	件
	分娩時の妊娠週数が22週以上34週未満である分娩件数	件
医療安全対策加算に係る事項	☐ 医療安全対策加算 1 に係る届出を行っている	
新生児治療回復室入院医療管理料に係る事項 (施設基準に該当する場合記入すること。)		
	保険医療機関の専任の小児科常勤医師数	名
	保険医療機関の専任の小児科非常勤医師数 (週 3 日以上かつ所定労働時間週22時間以上)	名
	右記管理料の届出状況	1 : 新生児特定集中治療室管理料の届出あり 2 : 総合周産期特定集中治療室管理料の届出あり

〔記載上の注意〕

1 届出に係る治療室ごとに記入すること。ただし、新生児特定集中治療室管理料 1 又は総合周産期特定集中治療室管理料の「2」新生児集中治療室管理料と新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料を同時に届け出る場合には、1 つの届出にまとめて差し支えない。

2 当該施設基準に係る項目については必ず記載すること。

3 当該治療室に勤務する従事者並びに当該病院に勤務する臨床工学技士、公認心理師、臨床検査技師、衛生検査技師、診療放射線技師及びエックス線技師について、様式20を添付するとともに届出前 1 か月の各治療室の勤務実績表及び日々の入院患者数等により、看護師の配置状況が分かる書類を添付すること。

4 新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料の届出を行う場合は、看護師の配置状況について、届出を行う病床の入院患者数等のうち当該管理料の算定対象患者数等がわかるものを併せて添付すること。

5 当該届出に係る治療室の平面図（面積等がわかるもの。）を添付すること。なお、新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料の届出を行う場合は、当該管理料の届出を行う病床の区域を明示した平面図を併せて添付すること。

6 装置・器具の配置場所は、当該治療室内に常時設置している場合は「治療室内に配置」を、当該治療室内に常時設置していないが、病院内に設置している場合は「病院内に配置」を選択すること。「隣接する新生児治療室に配置」は、新生児治療回復室入院医療管理料を届け出る治療室において、当該治療室が新生児特定集中治療室又は新生児集中治療室と隣接しており、これらの装置及び器具を共有しても緊急の事態に十分対応できる場合にのみ選択すること。